

次世代統合オペレーションシステム “ MELOpS ”

松下年伸* 馬場義晶†
小林 敦** 高井伸之†
土田 充***

Next Generation Integrated Operations System "MELOpS"

Toshinobu Matsushita, Atsushi Kobayashi, Mitsuru Tsuchida, Yoshimasa Baba, Nobuyuki Takai

要 旨

近年、通信サービスの多様化・大容量化要求にこたえるために、IP技術による次世代ネットワーク(Next Generation Network : NGN)の構築が進んでいる。その中で通信キャリア各社は、低コスト化、高信頼化及び新規サービスの迅速な立ち上げのため、網構築・運用体制の強化、サービス運営費用(Operating Expense : OPEX)の削減等の課題を抱えている。

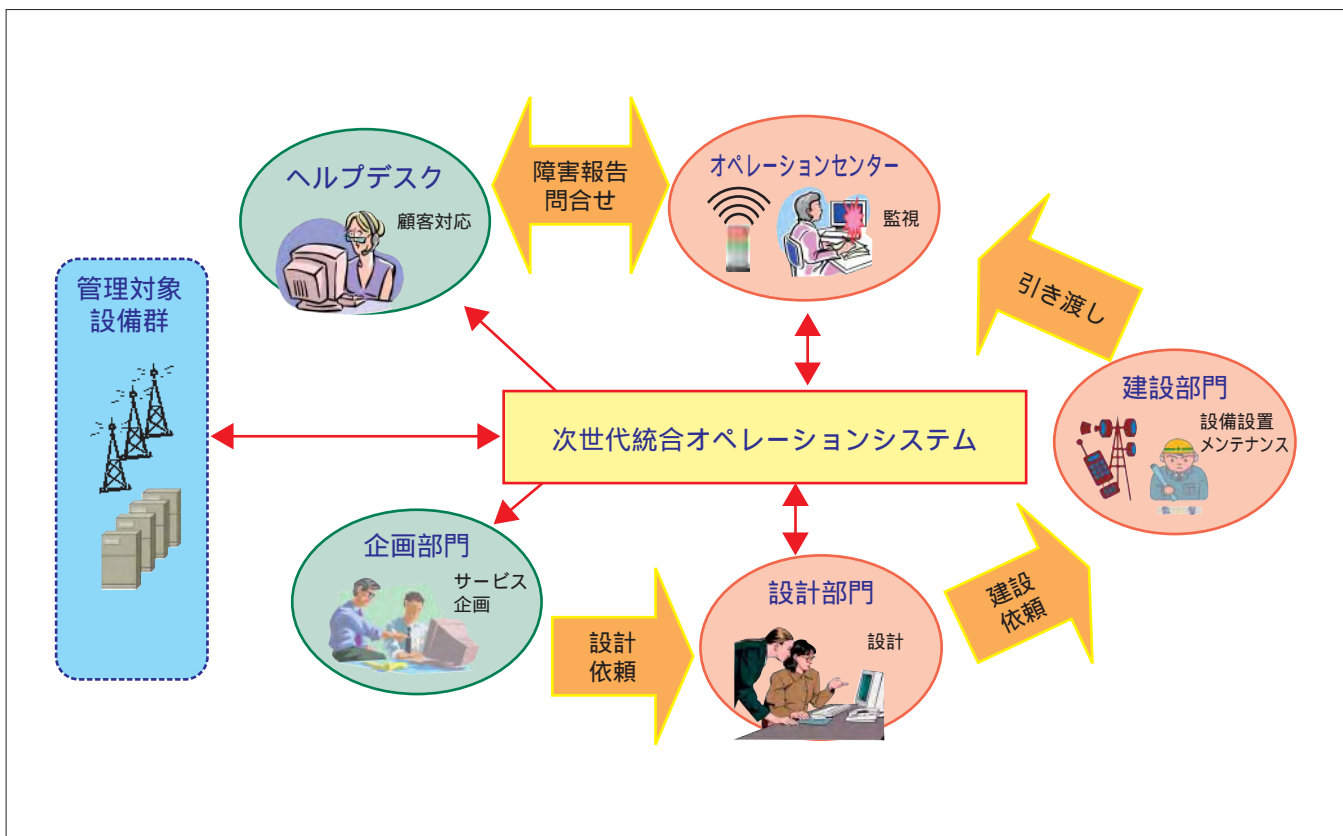
三菱通信キャリア向け統合オペレーションシステム“ MELOpS^(注1)”はITIL^(注2)(Information Technology Infra-

(注1) MELOpSは、三菱電機インフォメーションシステムズ㈱の登録商標である。

(注2) ITILは、英国政府機関OGC(Office of Government Commerce)が策定した運用管理のフレームワークの名称(登録商標)である。

structure Library)及びNGOSS^(注3)(Next Generation Operations Systems and Software)に適合し、構成管理データベースCMDB(Configuration Management Database)を中心に企画部門、設計部門、オペレーションセンター等の通信サービス・ライフサイクル全体の業務を連携(フロールー)させて、運用管理業務を効率化するとともに、新規サービスの立ち上げに柔軟かつ迅速に対応できる業務基盤を提供する。また、各通信キャリア固有の業務に対しても、これまでに蓄積してきた構成管理データベースのテンプレートをカスタマイズすることで、新規システムを迅速かつ効率的に構築できることを特長としている。

(注3) NGOSSは、TMF(Tele Management Forum)が策定した運用管理のフレームワークである。



三菱通信キャリア向け統合オペレーションシステム“ MELOpS ”

MELOpSはCMDBの情報を共有することによって、通信サービス・ライフサイクルにおける各部門の業務を連携させて運用コストの削減、サービスの高信頼化、及び新規サービス導入時の迅速な立ち上げを実現する。